

第2期朝霞市自殺対策計画（案）に関する市民コメント（意見募集）結果

1. 市民コメント実施概要

1	内容	市の自殺対策の推進を図るために策定する第2期朝霞市自殺対策計画（案）について市民の皆さんからの意見を募集しました。
2	意見募集期間	令和6年11月12日（火）～令和6年12月11日（水）
3	意見提出対象者	市内に在住、在勤・通学されている方、この計画に利害関係を有する方
4	公表資料	第2期朝霞市自殺対策計画（案）
5	提出意見数	6通（15件） 内訳／個人5 団体1 内訳／電子メール5通 ファックス1通

2. 市民コメント集計

番号	内容	意見概要	市の考え方	変更の有無
1	孤独感の緩和	死にたいと口にされる方のきっかけの多くは人間関係不和である。不和から孤独感を感じていることから、孤独感の解消につながる事業等が、本市が目指す居場所づくりとなり、自死のリスク回避につながるのではないかな。	働く場やボランティア活動、クラブ活動等、人と関わり合うことはとても重要であり、地域でのつながりは重要と考えています。 計画に記載のあるP44の7にある「健康あさか普及員」と共に取り組む健康づくり等で、取り組んでまいります。	無
2	健康と未来への希望	身体疾患や精神疾患がきっかけとなり、生活困窮に陥ることが多いのではないかな。いずれの疾患も早期発見・早期対応が行われることで、健康を維持し、復職できる可能性が高まり、経済的な不安は解消されるのではないかな。	自殺の原因となる問題の多くは健康問題、精神的な問題が多い状況であり、健康を維持できるようなサポートは大変重要と考えています。P50の38にある健康に関する個別相談や同じく39の各種健診事業にて取り組みます。	無
3	背景の分析等に使う情報について	地域自殺実態プロフィールが掲載されているが、基礎データにするには、情報が古いのではないかな。厚生労働省が公表した自殺対策白書等新しい情報も柔軟に取り込み、幅広い視点で自殺の背景を掘り下げてはどうか。	国から提示される地域自殺実態プロフィールをもとに分析しており、計画策定時に最新で掲載されていたものを今回使用しております。策定途中に公表された自殺対策白書の内容について、追加記載します。	有
4	重点戦略について	基本施策の⑤に若年という対象を視点にした施策になっている。若年層への支援は、重点施策に移行すべきではないかな	基本施策については、全国共通で取り組むべき施策として示されているものを5本柱として掲げており、重点施策については、地域特性を考慮して推奨されているものを取り入れております。	無
5	評価指標について	評価指標の項目が、すでに当然行われている取組のため、新しい計画の指標にする項目ではない印象。認知度等他の指標をいれるのはどうか。	実施されるべき内容を指標に取り入れ、確実に取り組むことが必要であると考え、今回新たに指標として掲載しました。実施後評価する際に、ゲートキーパー研修においては、研修修了者数の増加を見込むなど、実績の評価を行いたいと思います。	無

6	自殺対策連携推進のための協議会の設置	現在の対策が効果を上げていない以上、根本から見直す必要があるのではないかと。 直接的な自殺の原因は、健康問題となっているが、うつ病が原因のことも多く、その原因は、人間関係、経済問題、過労があげられており、社会的原因があると分析されています。	多職種で連携することが重要であるため、今後そのような協議会設置に向けた検討は必要であると考えていますが、現状、関係機関等で協議するための場として、P 4 4 の 7 の健康づくり推進協議会を活用したいと考えています。	無
7	地域のソーシャルワーカーの設置	問題が複雑であり、ひとつの機関での対応は難しいため、医療機関や公的機関を含む相談機関や市民との連携が重要と考える。	長期に支援するため、その相談内容に応じて、適した部署で対応し、連携しながら継続支援をしているところです。今後、地域のソーシャルワーカーの設置等については、計画を推進するなかで、検討したいと考えています。	無
8	重層的支援体制整備事業を活用した地域の連携強化		多問題のケース支援につきましては、多機関で関わる必要があると考え、重層的支援体制整備事業の整備をすすめていることから、P 4 7 に追加記載しました。	有
9	生活困窮者支援：家計相談支援事業の実施、ケースワーカー、民生委員の拡充等		家計相談支援事業については、P 4 8 の 1 7 福祉の総合相談等の範囲で実施します。また、ケースワーカー、民生委員の拡充については、稼働状況等を把握し検討したいと考えています。	無
1 0	学校でのソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの常勤職員配置		学校でのソーシャルワーカー等の常勤職員配置につきましては、P 5 5 の 2 0 朝霞市子ども相談室、同じく 2 1 のさわやか相談室で実施しております。計画上の修正はありませんが、稼働状況や必要性等を考慮し、今後、検討をまいります。	無
1 1	大人も子供も共に学び合う場の醸成		地域住民が主体的に困りごとを受け止め、学び合う場の醸成については、現状では具体的な計画はありませんので、計画上の修正はありませんが、市民の声を聞きながら解決に向かうための場の設定等については、計画を推進するなかで、今後の参考にさせていただきます。	無
1 2	メッセージ性の高い標語やポスター等の提案	子供たちにむけて「生きてほしい」「生きていこうよ」というメッセージを標語やポスター等で届けてはどうか	相談窓口の周知活動のキャッチフレーズを「待っています あなたの声を」として、周知することとしております。今回の意見は、今後の参考にさせていただきます。	無

13	高次脳機能障害等の支援策について、計画への追記	高次脳機能障害等の障害のある方やその家族への支援策を計画に記して下さい。	高次脳機能障害等の方への支援策については、P49に記載のある障害福祉課で実施されている各種相談事業があり、その中で対応していく予定としています。	無
14	体裁について	計画内の表やグラフ等の修正について 本文中の表現内容について	ご指摘のあった内容について、検討した結果、一部、表現内容や表、グラフの修正等行います。	有
15	内容について	<評価について> 定量的な観点の評価はないのか。分析内容についての再確認等 <課題と施策について> 基本施策全体の評価について、第1期計画の評価・課題に対応するための第2期施策の方向性について等 <計画の進行管理> データ解析、計画管理の工夫等の提案	ご指摘のあった内容について、表現方法について、一部修正するとともに、分析内容について再確認し、一部修正します。 評価や今後の施策、計画の進行管理等のご意見については、計画を推進するなかで、参考にさせていただきます。	有